

全日本空道連盟理事会からの報告

全日本空道連盟の理事会を書面で開催しました。  
議案および議決結果は次の通りです。

第1号議案 世界大会へのロシア選手の出場について

KIF および KAJF は、ウクライナとロシア双方からの世界大会への出場を強く願っている。

第6回世界空道選手権大会において、以下を条件としてロシアの選手の出場を認める。

1. ロシアという国の代表ということではなく、国名無しで「AAHOC(Athlete Authorized by the Hokutoki Organizing Committee)」ということに参加することを認める
2. ただし、SNS 等でウクライナ侵攻を支持する発信をしている者の参加は認めない
3. ロシアからの集団での応援団の参加は認めない
4. 大会会場でロシア国旗を使用すること、および「ロシア」コールを禁止する
5. ウクライナからジュニアの選手を中心に KIF による費用負担で何名か招待する予定だが、ウクライナ選手が出場するカテゴリーにはロシアの選手の出場を認めない
6. 同様に、国家がロシア選手の国際大会出場に強く反対している国があることを考慮し、これらの国の選手が参加するカテゴリーにはロシアの選手の出場がないように、できるだけ配慮する
7. ウクライナとロシアだけでなく、すべての国からの参加者および観客に対して、政治的なメッセージの発言や誹謗中傷を禁止する（純粹に、空道というスポーツの大会に出場する、または応援するというスタンスを求める）
8. 上記に違反した場合は、違反した者および所属する国の連盟に対して、何らかのペナルティ（段級位の剥奪や降段・降級など）を課す

補足：ロシア空道連盟がウクライナ侵攻を公式に支持している場合は、選手等の参加を一切認めないが、国のスポーツ省からの要請による人道的な支援に止まっていることを、KIF として確認済

補足：ロシアのジュニアの選手は出場しない予定

補足：本議案が承認された場合でも、最終的に日本のスポーツ庁や外務省が認めない場合は、この限りではない。IOC の方針次第では、これらの省庁がロシア選手の出場に難色を示す可能性がある。

議決結果：

同意：14名 反対：1名 理事長に一任：3名

第2号議案 世界大会におけるロシア審判の参加について

第6回世界空道選手権大会において、以下を条件としてロシアの審判の参加を認める。

1. ロシアという国の代表ということではなく、国名無しで KIF 認定国際審判員ということに参加することを認める
2. ただし、SNS 等でウクライナ侵攻を支持する発信をしている者の参加は認めない
3. ロシアからの集団での応援団の参加は認めない
4. ウクライナ選手が参加するカテゴリーには、ロシアの審判員の参加を認めない
5. 同様に、国家がロシア選手の国際大会参加に強く反対している国があることを考慮し、こ

これらの国の選手が参加するカテゴリーにはロシアの審判員が審判を務めないように配慮する

補足：日本とロシア以外の国の審判員に、積極的に審判員を務めてもらいたい。

補足：本議案が承認された場合でも、最終的に日本のスポーツ庁や外務省が認めない場合は、この限りではない。

議決結果：

同意：14名 反対：1名 理事長に一任：3名

以上